



リオン株式会社

2024年3月期 決算説明会

2024年5月17日
東京証券取引所 プライム市場
証券コード <6823>

当社の開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。

この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

1 2024年3月期 決算概要

2 今後の事業環境と業績見通し

1. 2024年3月期 決算概要

常務取締役 経営企画本部長 加藤 公規

はじめに－ 3 事業セグメントと 4 製品群

事業セグメント	製品群	特徴
A. 微粒子計測器事業	① 微粒子計測器	- 半導体製造関連向け - 浄水・医薬品向け
B. 医療機器事業	② 補聴器	- 国内トップシェア - リオネット補聴器
	③ 医用検査機器	- 耳鼻咽喉科領域 - オーディオメータ
C. 環境機器事業	④ 音響・振動計測器	- 騒音公害対策が起源 - 騒音計・振動計・地震計

※当期より報告セグメントの記載順序を変更しております。

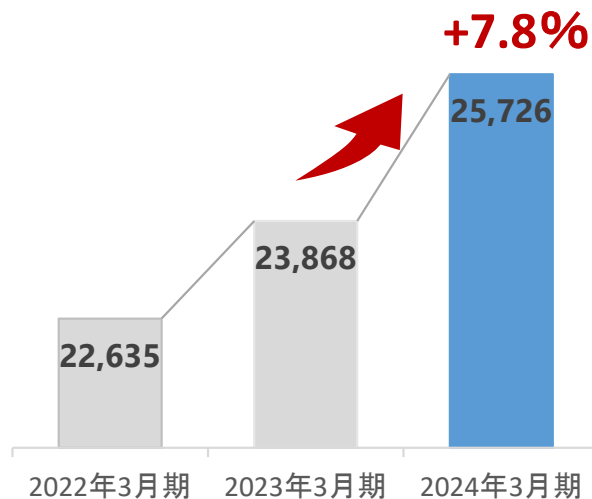
連結業績－決算ハイライト

売上高・営業利益・経常利益・当期純利益ともに過去最高を更新

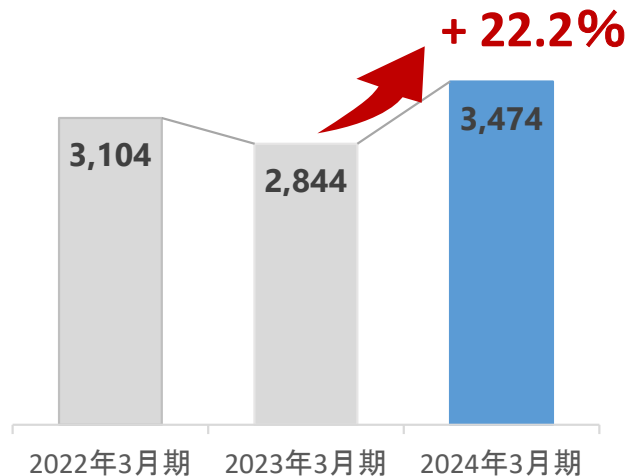
微粒子計測器事業の大幅な伸長が全体業績を牽引

当期純利益は高額な特別損失を計上した前期から大幅に増加

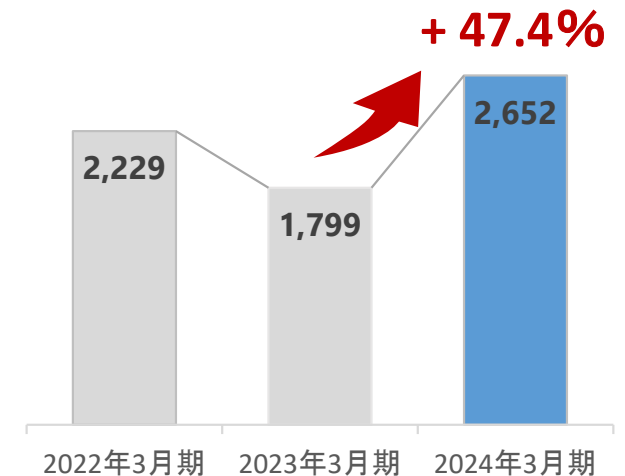
売上高 [百万円]



営業利益 [百万円]



当期純利益 [百万円]



連結業績－決算概要



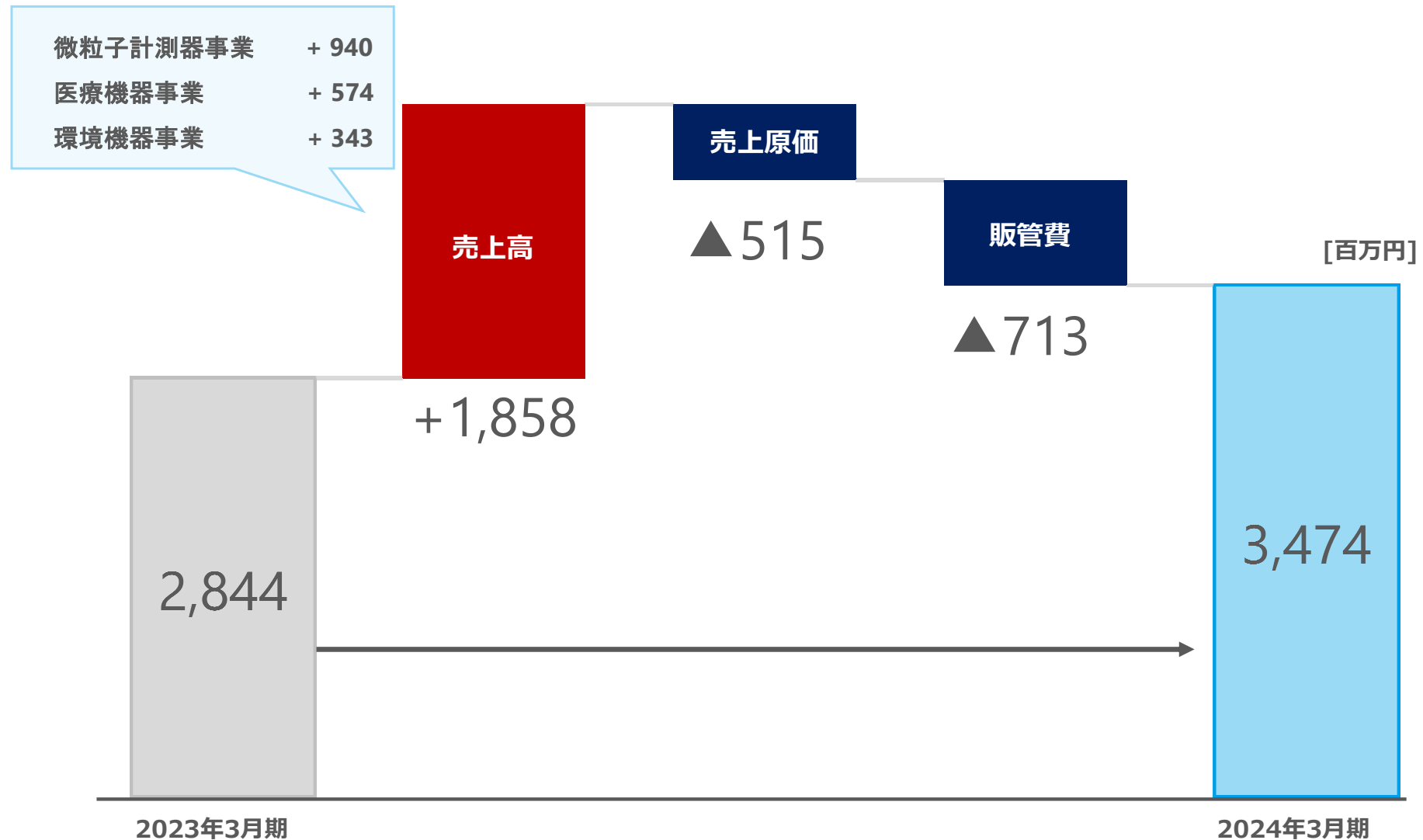
売上高	過去最高の売上高を更新。微粒子計測器及び医療機器事業の販売好調により、全体では7.8%増加の25,726百万円。
営業利益	トップラインの増加、なかでも微粒子計測器事業において半導体関連市場向けの付加価値の高い先端微粒子計の販売増加が貢献し、全体では22.2%増加の3,474百万円。

[百万円]

2023年3月期			2024年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	23,868	100.0%	25,726	100.0%	1,858	7.8%
売上総利益	11,702	49.0%	13,046	50.7%	1,343	11.5%
販管費・一般管理費	8,858	37.1%	9,571	37.2%	713	8.1%
営業利益	2,844	11.9%	3,474	13.5%	630	22.2%
経常利益	3,007	12.6%	3,562	13.8%	555	18.5%
当期純利益	1,799	7.5%	2,652	10.3%	852	47.4%
1株当たり利益	146円33銭		215円51銭			

営業利益の推移

微粒子計測器事業を中心に売上高を大きく伸ばした中で、セールスミックスの向上によりコストの増加を吸収して、営業利益は前期実績を大幅に上回る結果となった。



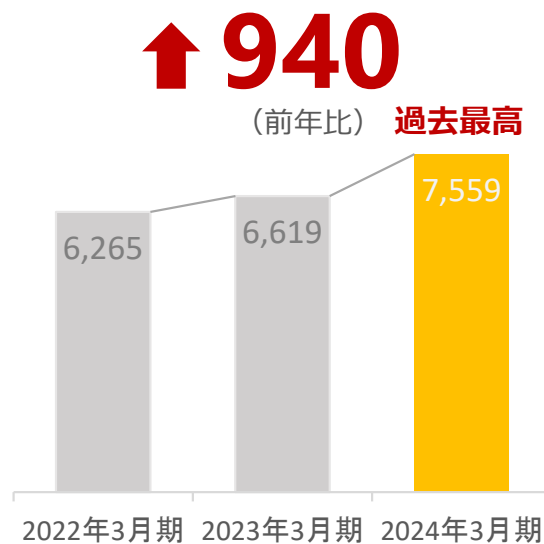
微粒子計測器事業



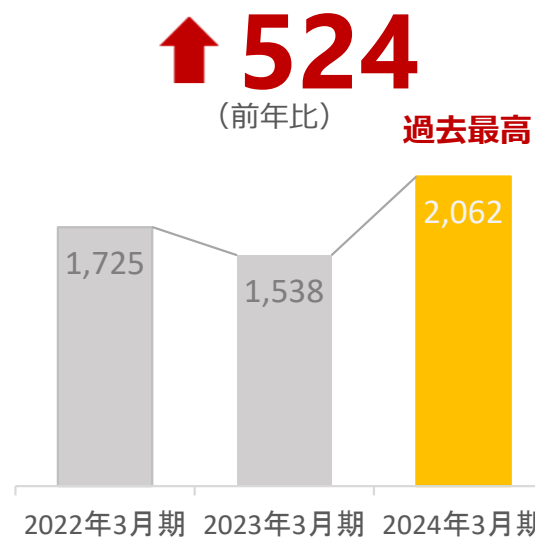
[増収増益]

- 主要顧客の半導体関連市場において、世界各地での設備投資（新設・増強）が堅調に推移しており、当社製品への高い需要が継続している。
- 経営資源の集中投入により継続して生産能力の増強を図っており、大幅な増収・増益につながった。

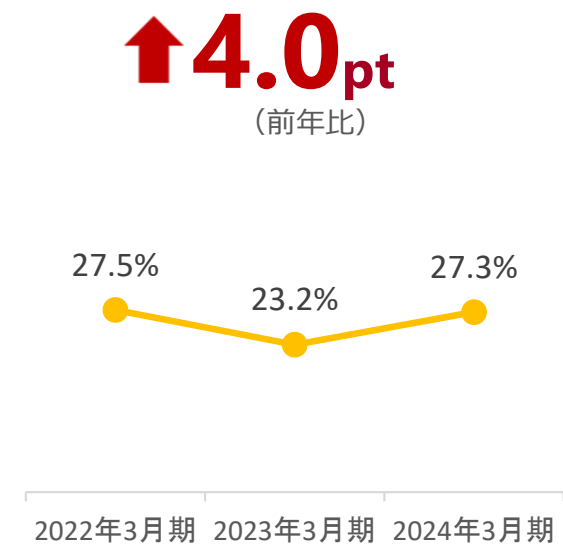
売上高 [百万円]



営業利益 [百万円]



営業利益率 [%]





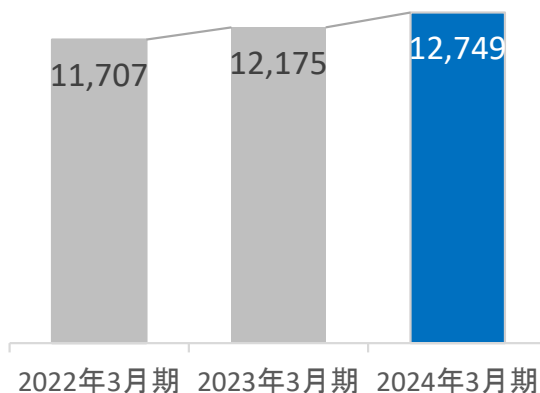
[増収増益]

- 補聴器は、医療機関からの紹介が増加したこと等により来店客数が好調に推移。加えて新製品「リオネット2シリーズ」を中心とした高付加価値製品の販売が貢献し、増収となった。
- 医用検査機器は、顧客である医療機関において設備投資が回復。オーディオメータ等の販売が好調に推移し、増収となった。

売上高 [百万円]

↑ **574**

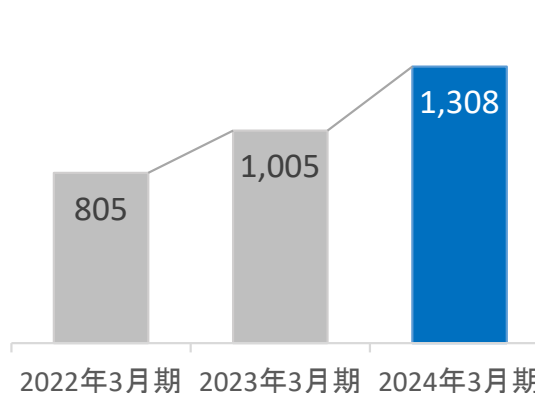
(前年比) **過去最高**



営業利益 [百万円]

↑ **302**

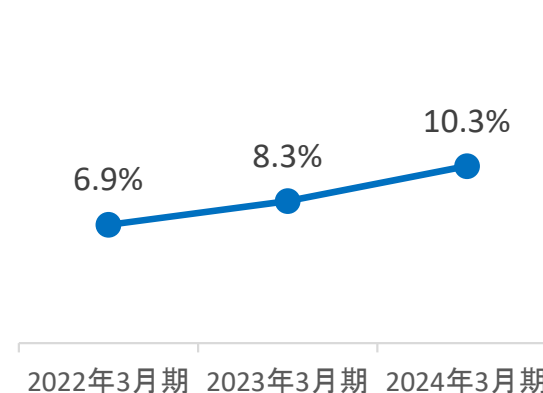
(前年比)



営業利益率 [%]

↑ **2.0_{pt}**

(前年比)





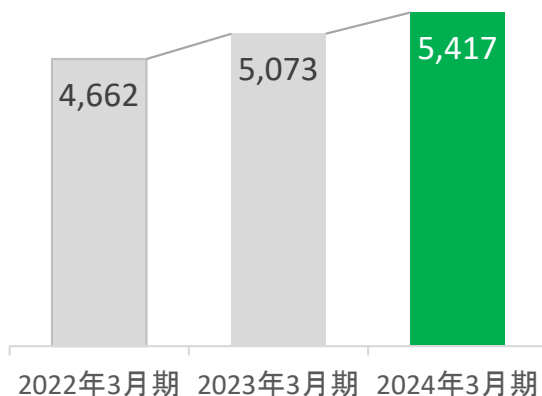
[増収減益]

- Norsonic社(ノルウェー)の業績が通期で売上増加に寄与したものの、国内市場においては、官公庁をはじめとした顧客において物価高騰等の影響に伴って設備投資を控える姿勢があり低調に推移。
- 新製品の開発費負担が集中したことなどにより利益率が低下。

売上高 [百万円]

↑ **343**

(前年比) **過去最高※**

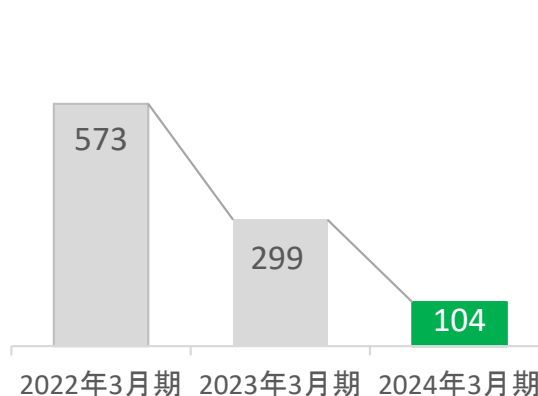


※2020年3月期の事業セグメント変更以降

営業利益 [百万円]

↓ **195**

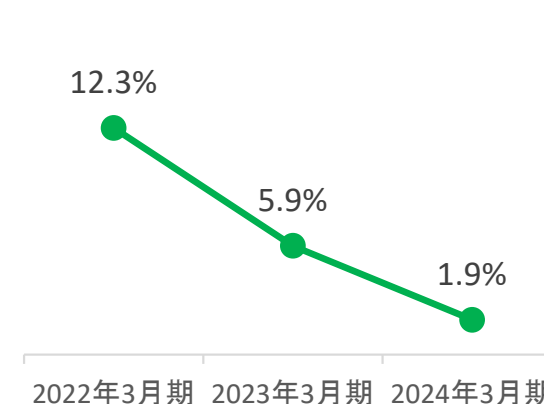
(前年比)



営業利益率 [%]

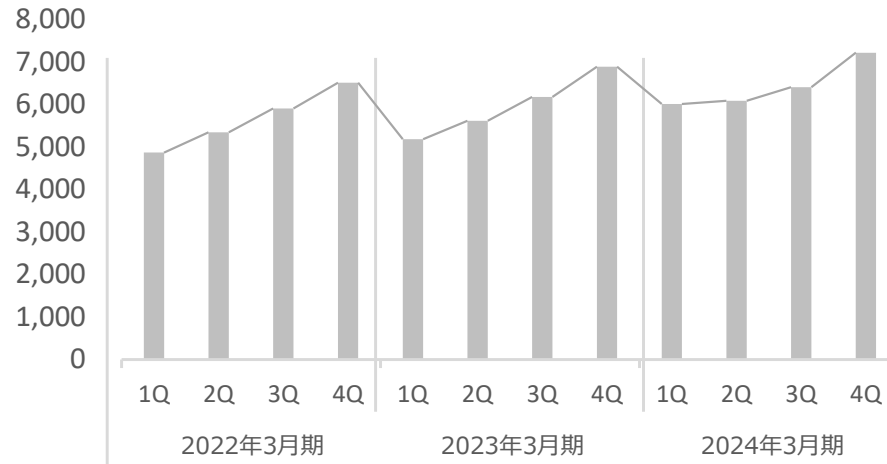
↓ **4.0_{pt}**

(前年比)

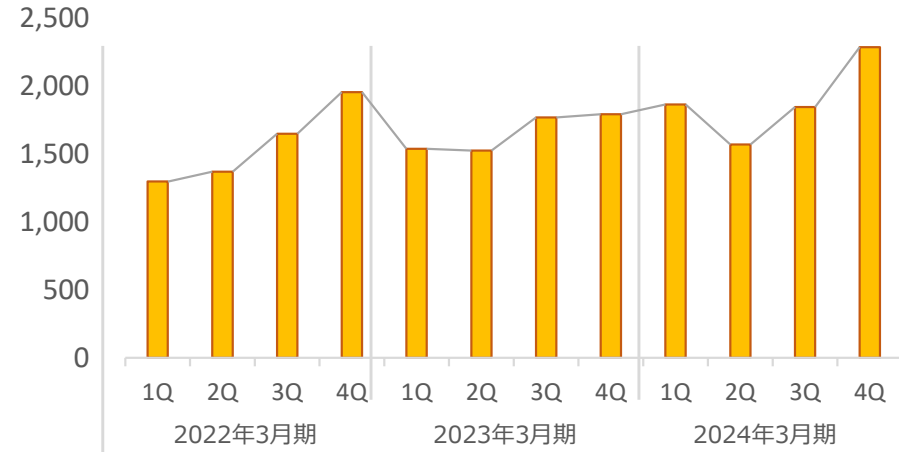


売上高 四半期の推移 (事業セグメント別)

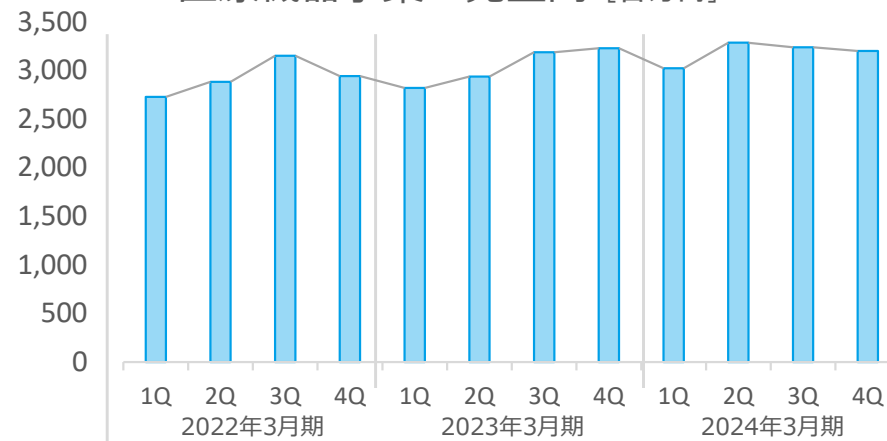
全体：売上高 [百万円]



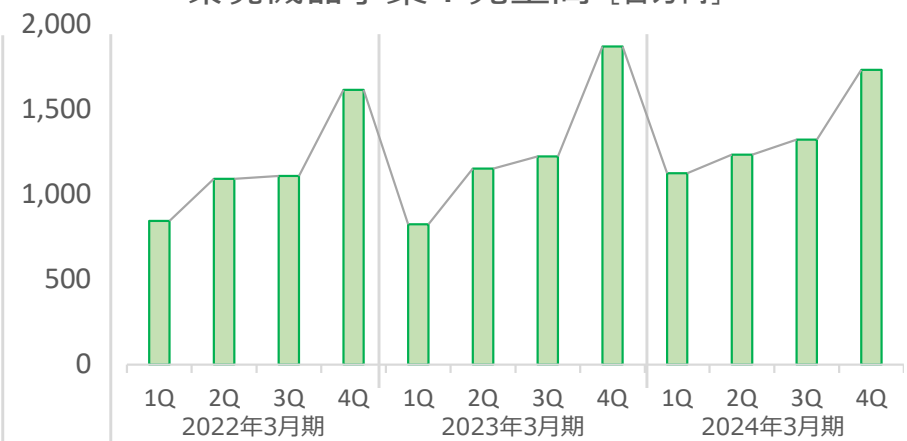
微粒子計測器事業：売上高 [百万円]



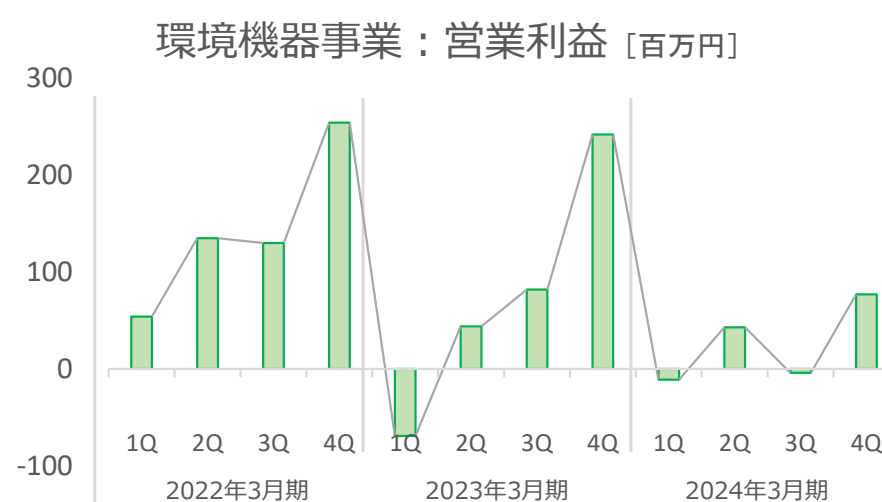
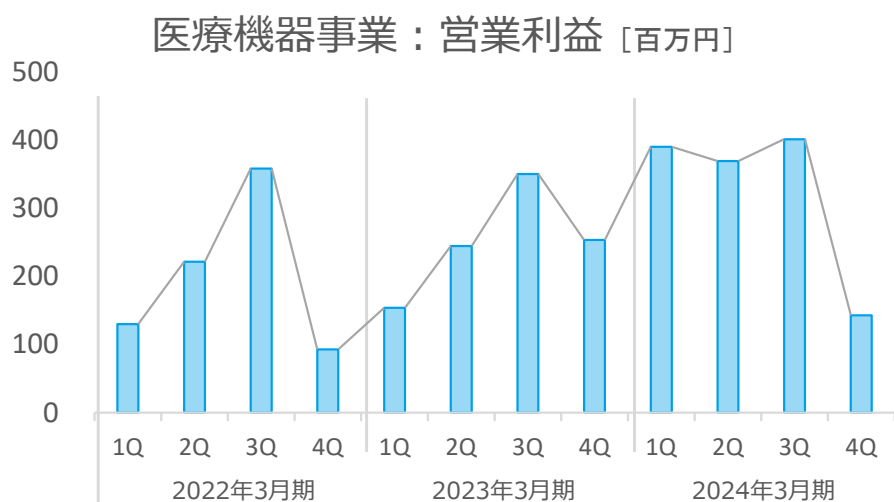
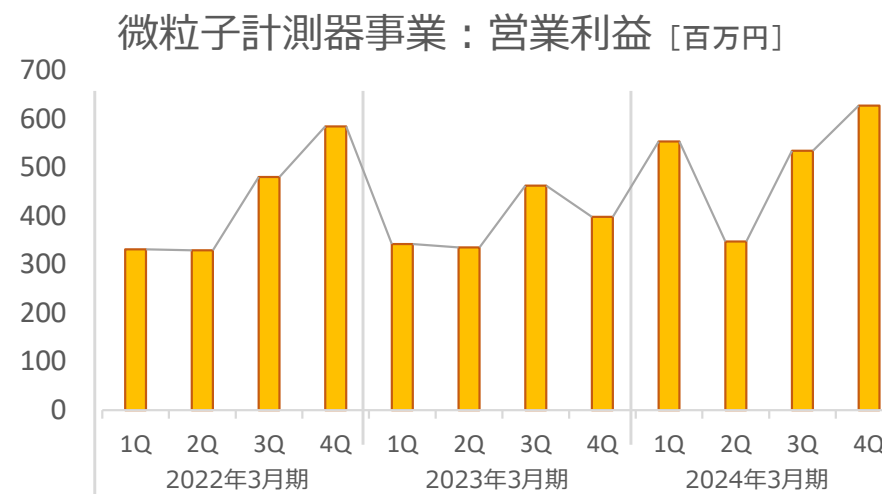
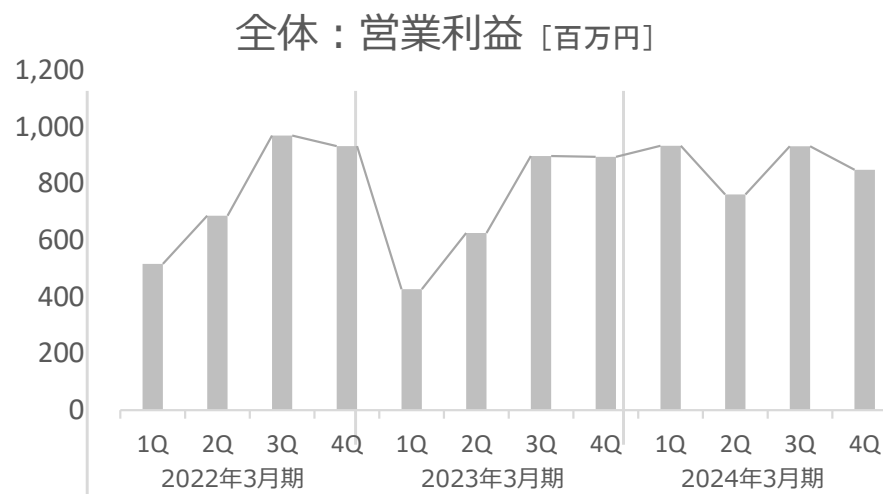
医療機器事業：売上高 [百万円]



環境機器事業：売上高 [百万円]



営業利益 四半期の推移 (事業セグメント別)



連結貸借対照表 (B/S)

[百万円]

2023年3月期		2024年3月期	前期比	
実績		実績	増減額	増減率
流動資産	19,501	20,809	1,307	6.7%
現金及び預金	5,371	5,025	▲346	▲6.4%
棚卸資産	6,432	7,207	774	12.0%
その他	7,696	8,575	879	11.4%
固定資産	15,056	16,331	1,275	8.5%
有形固定資産	10,151	11,486	1,334	13.1%
無形固定資産	2,303	2,463	159	6.9%
投資その他の資産	2,600	2,381	▲218	▲8.4%
資産合計	34,557	37,140	2,583	7.5%
流動負債	4,787	5,378	591	12.3%
固定負債	3,157	2,550	▲606	▲19.2%
負債合計	7,945	7,929	▲15	▲0.2%
純資産合計	26,612	29,211	2,599	9.8%
負債及び純資産合計	34,557	37,140	2,583	7.5%

連結損益計算書 (P/L)

[百万円]

	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	23,868	25,726	1,858	7.8%
売上原価	12,165	12,680	515	4.2%
売上総利益	11,702	13,046	1,343	11.5%
販売費及び一般管理費	8,858	9,571	713	8.1%
営業利益	2,844	3,474	630	22.2%
営業外収益	205	170	▲34	▲17.0%
営業外費用	42	82	40	96.5%
経常利益	3,007	3,562	555	18.5%
特別利益	55	50	▲5	▲9.0%
特別損失	678	95	▲582	▲85.9%
税金等調整前当期純利益	2,384	3,517	1,132	47.5%
法人税等	585	865	280	47.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,799	2,652	852	47.4%

連結キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

[百万円]

	2023年3月期	2024年3月期	前期比
	実績	実績	増減額
営業活動によるCF	1,783	2,857	1,073
税金等調整前当期純利益	2,384	3,517	1,132
減価償却費	716	837	121
法人税等の支払額	▲1,280	▲758	521
その他	▲36	▲738	▲701
投資活動によるCF	▲3,246	▲2,652	593
有形固定資産の取得による支出	▲1,310	▲2,131	▲821
無形固定資産の取得による支出	▲752	▲559	193
その他	▲1,182	38	1,221
財務活動によるCF	▲577	▲565	11
配当金の支払額	▲565	▲553	12
その他	▲11	▲11	0
現金及び現金同等物の期末残高	5,206	4,860	▲346

2. 今後の事業環境と業績見通し

代表取締役社長 岩橋 清勝

3 事業セグメント・4製品セグメント別の事業環境

事業セグメント	製品群	事業環境	事業環境の見通し
A. 微粒子計測器	① 微粒子計測器	生成AI等の出現でDXが進み半導体市場が拡大することで微粒子計測器の需要がさらに高まる。	
B. 医療機器	② 補聴器	2042年まで国内の65歳以上の高齢者人口は緩やかに増加する。 - 高齢化社会に備え産学官連携の活発化により補聴器への理解深まり普及率が拡大する。	
	③ 医用検査機器	補聴器装用の啓発に伴い補聴器相談医の増加と補聴器外来受診者が増加することで、検査機器の買い替え需要が継続する。	
C. 環境機器	④ 音響・振動計測器	- 顧客の需要が測定機器から測定データへ移る。 - Norsonic社とのシナジー効果等により海外市場で販売を強化する。	

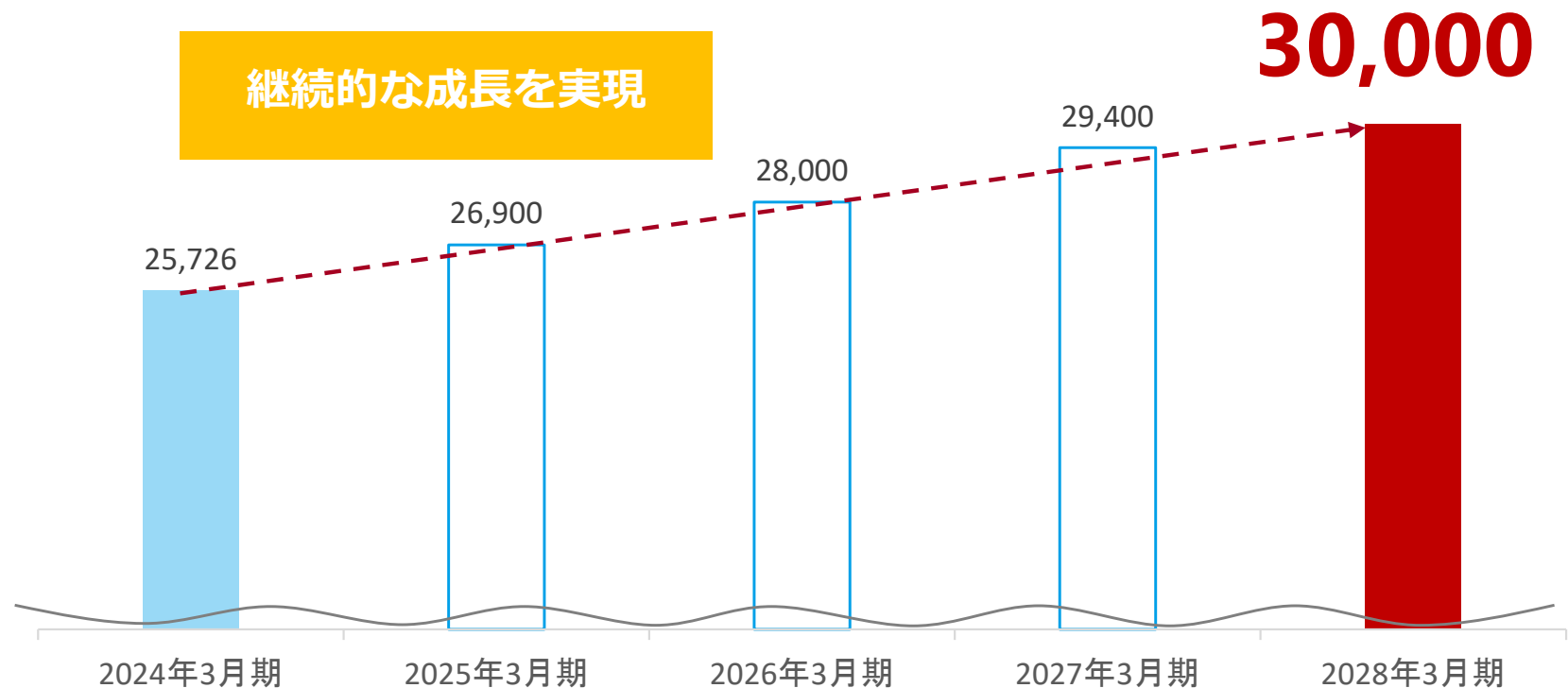
2024年度中期経営計画が目指す指標

指標

連結売上高	300億円
営業利益率	15%
ROE（自己資本利益率）	10%

売上高

[百万円]



中期業績見通し

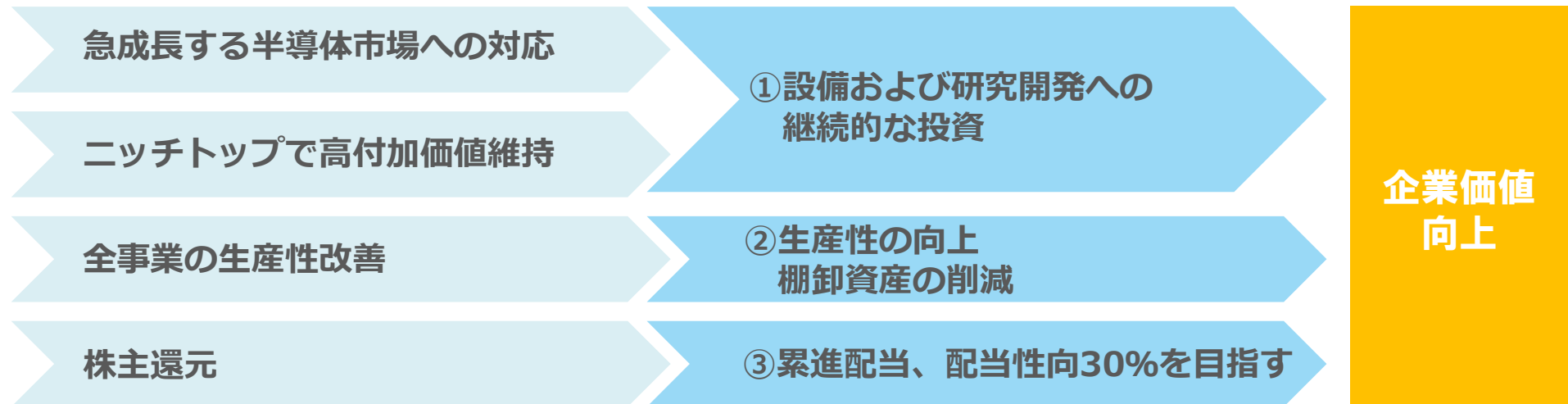
- 新たな製品開発や各市場でのニーズの高まりを捕捉することで、全事業セグメントにおいて売上高・利益ともに継続的な伸長を見込む。
- 微粒子計測器事業の生産能力増強に向けた投資を継続するため、一定程度のコストの増加が続くものと見込む。

[百万円]

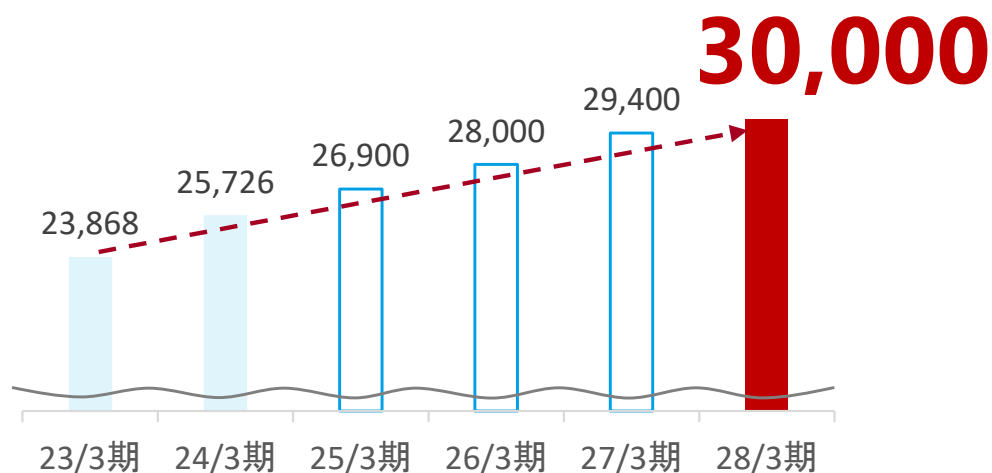
	実績	予想		
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
売上高	25,726	26,900	28,000	29,400
（微粒子計測器事業）	(7,559)	(8,100)	(8,750)	(9,600)
（医療機器事業）	(12,749)	(13,050)	(13,250)	(13,500)
（環境機器事業）	(5,417)	(5,750)	(6,000)	(6,300)
営業利益	3,474	3,700	4,000	4,400
（微粒子計測器事業）	(2,062)	(2,100)	(2,300)	(2,550)
（医療機器事業）	(1,308)	(1,450)	(1,500)	(1,550)
（環境機器事業）	(104)	(150)	(200)	(300)
経常利益	3,562	3,700	4,000	4,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,652	2,700	2,900	3,200

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

基本方針：中期経営計画の迅速な遂行により経営指標を確実に達成し企業価値の向上に努める



中期経営計画 売上高の推移 [百万円]



中期経営計画 指標

連結売上高	300億円
営業利益率	15%
ROE	10%

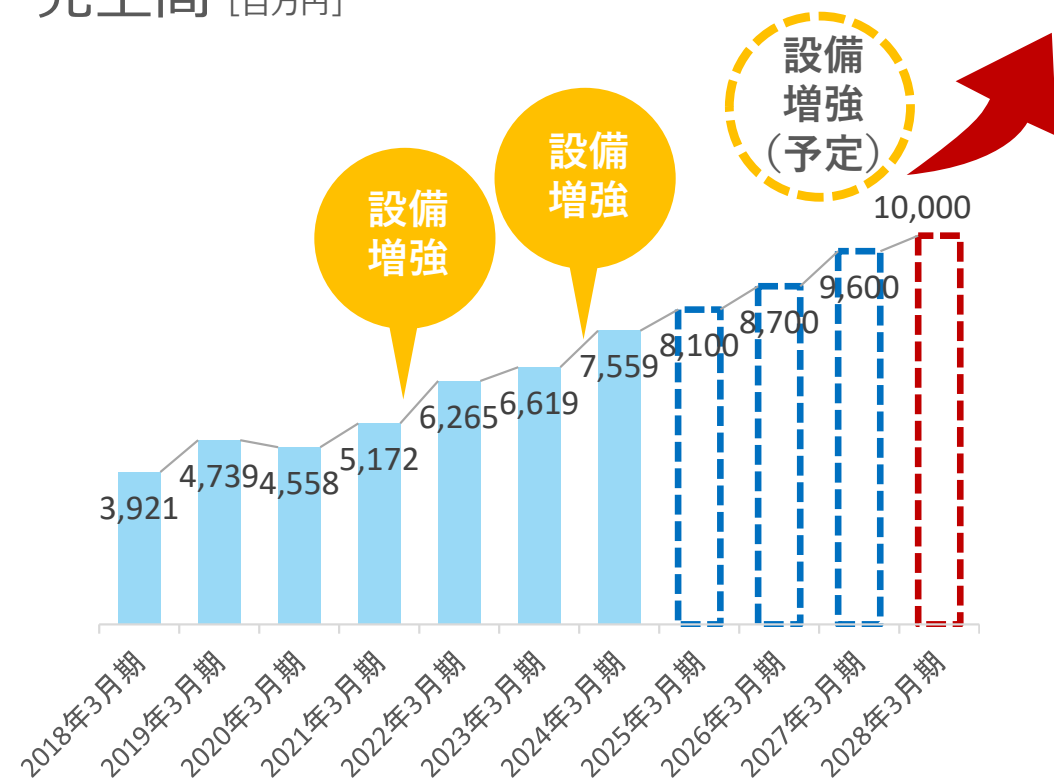
① 設備および研究開発への継続的な投資

- 微粒子計測器事業における売上高100億円達成に向け投資を実施
- 生産能力増強のため継続的な設備投資を実施
- シングルナノ実現に向けた最先端技術開発として投資を継続



微粒子計測器を製造するクリーンルームの様子

売上高 [百万円]

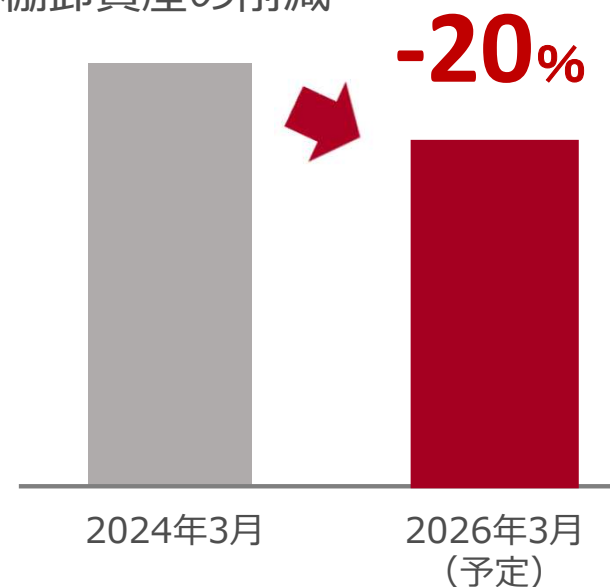


② 生産性の向上

- 生産能力を強化するため、生産本部を新設して各事業部の生産部門を統合
- 調達から製品に至る生産工程を全面的に見直し、効率化を図り生産量を拡大
- 在庫回転率を向上させ棚卸資産を削減することで、経営資源の最適化を図る

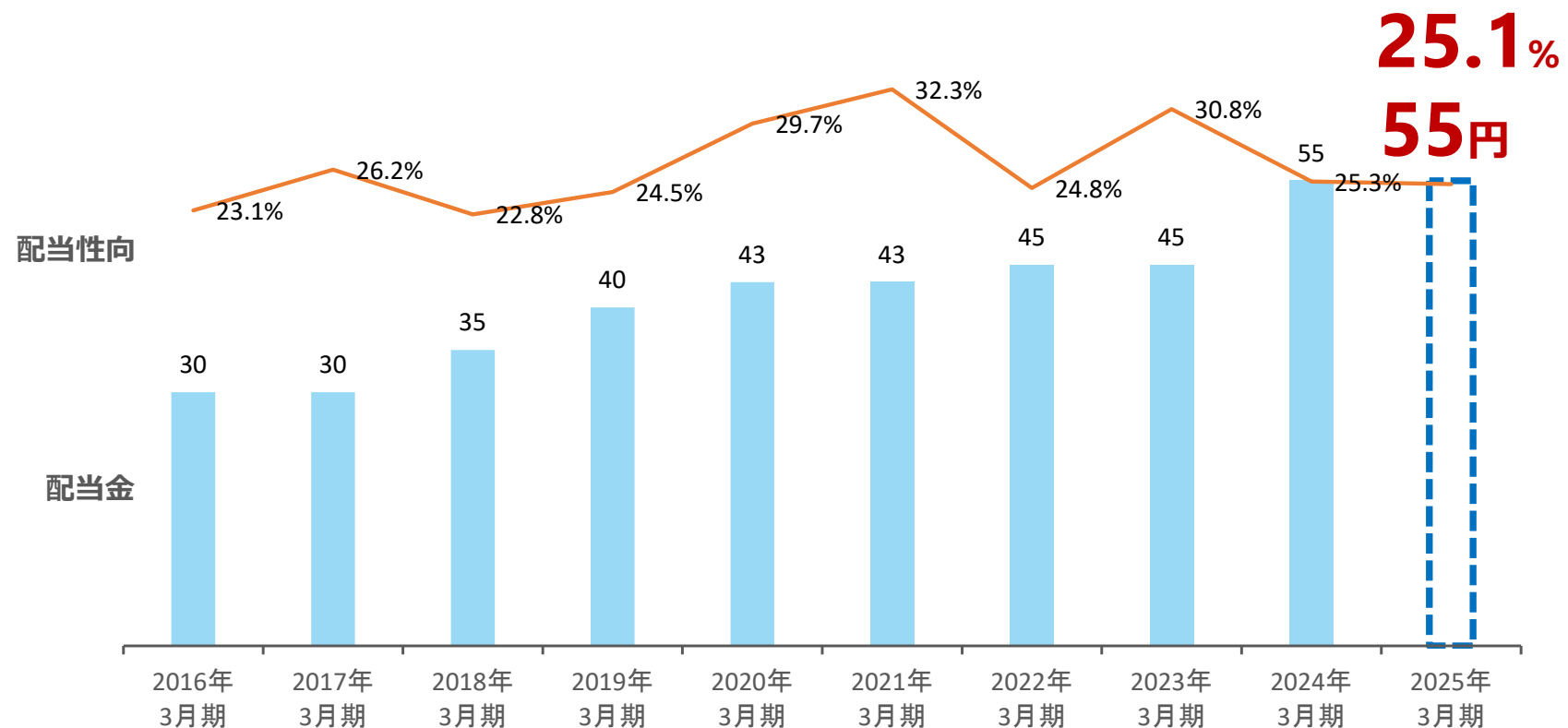


棚卸資産の削減



③ 累進配当、配当性向30%を目指す

- ・ 業績に応じた配当金額の設定
- ・ 配当水準向上の取組みを継続





**リオンは すべての行動を通して
人へ 社会へ 世界へ 貢献する**

Contributing to people, society and the world through all our activities